

# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 構想概要

## 上智大学

### 【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

多様性の調和を目指す学融合型の人間開発教育プログラム

### 【プログラムの目的・養成する人材像】

国際連携に基づく新たな国際高等教育モデルの構築を目指し、ASEANと日本の学生が共に学び合う協働教育のプラットフォームを提供することで、アジアに立脚し域内外の地球規模の課題に対応できる人材を育成する。

### 【構想の概要】

ASEANと日本の学生が協働し、既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取組む学融合型プログラム。「ヒューマン・エコロジー:社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、学生は多様な科目群から学修計画に基づいて科目を履修すると同時に、受入・派遣学生は共通科目「学融合型人間開発(TDHD\*)入門」及び「実地研修型ゼミナール」を履修する。

\*TDHD= "Trans-Disciplinary Human Development"

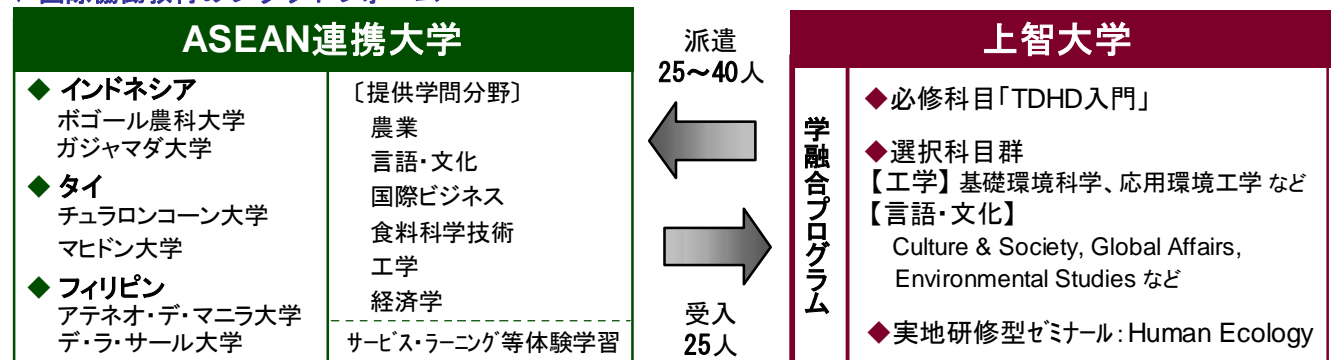
## ■ 交流プログラムの質の保証

**【Registrar (履修アドバイザー)】** ASEAN交流オフィスの教員が受入・派遣学生の履修アドバイスなど学修支援を行う。

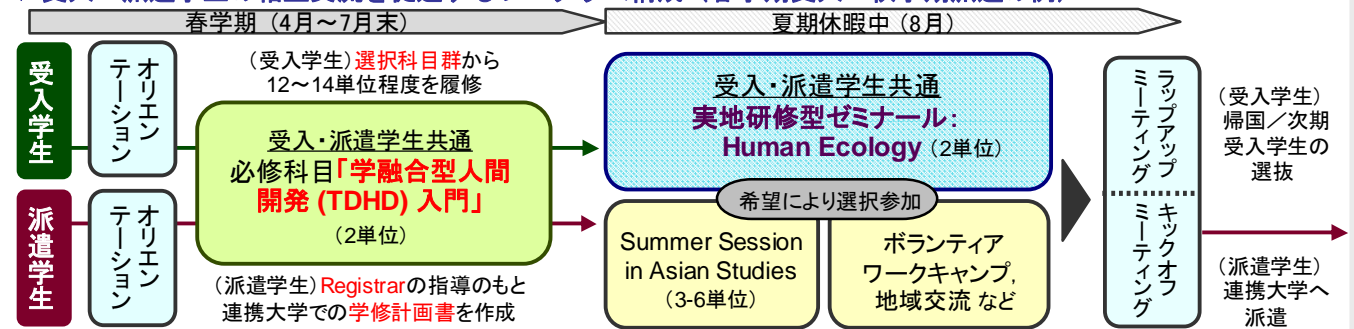
**【プログラム開発協議会】** 毎年、教員を連携大学に派遣し、双方のプログラムの質向上のため協議・情報共有を行う。

## ■ 交流プログラムの内容【Sophia AIMS Program (SAIMS)】

### ▼ 国際協働教育のプラットフォーム



### ▼ 受入・派遣学生の相互交流を促進するプログラム構成 (春学期受入・秋学期派遣の例)



## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) 申請時の計画

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ  
V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	-	-	-	-	-	-	10	8	-	7	-	-	10	9	-	11	-	-	12	11	-	12	-	-	14	13	-	13	-	-
学生の受入	-						25						25						25											

## ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

### 【受入・派遣共通】

- ・ ASEAN交流オフィスの設置
- ・ 受入学生、派遣学生が共に学べるプログラム構成

### 【受入】

- ・ 英語対応可能な常勤カウンセラーによる相談体制
- ・ 国際学生寮(上智大学祖師谷国際交流会館)での日本人学生および地域住民との交流機会の提供

### 【派遣】

- ・ ASEANフェア等によるASEAN留学へのプロモーション
- ・ 帰国後のフォローアップ研修による成果のアセスメント



上智大学  
祖師谷国際交流会館



世界各国からの留学生が集う

# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 取組概要

## 上智大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

多様性の調和を目指す学融合型の人間開発教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

国際連携に基づく新たな国際高等教育モデルの構築を目指し、ASEANと日本の学生が共に学び合う協働教育のプラットフォームを提供することで、アジアに立脚し域内外の地球規模の課題に対応できる人材を育成する。

【構想の概要】

ASEANと日本の学生が協働し、既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取組む学融合型プログラム。「ヒューマン・エコロジー：社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、学生は多様な科目群から学修計画に基づいて科目を履修すると同時に、受入・派遣学生は共通科目「学融合型人間開発(TDHD\*)入門」及び「実地研修型ゼミナール」を履修する。  
\*TDHD="Trans-Disciplinary Human Development"

### ■ 交流プログラムの質の保証

- ①常勤嘱託教員および関連スタッフの公募・新規雇用⇒専任教職員4名による推進体制構築のための採用活動を行い、派遣学生が相談できる体制、および履修アドバイザー（教員）による受入・派遣学生の履修アドバイスなど学習支援の準備を行った。
- ②第6回AIMSレビューミーティングへの参加⇒チェンライ（タイ）で実施されたミーティングに構想責任者が参加し、AIMSに関する情報収集および本学が提供するプログラムの紹介、関係者とのネットワーキングを行った。
- ③プログラム開発協議会の実施⇒教員（SAIMS運営委員会メンバー）および職員が全連携大学（3カ国6大学）を訪問し、受入・派遣に必要な事項の確認、双方のプログラムの質向上のための協議と情報共有を行った。
- ④プログラム担当教員の教授法にかかる開発研究の実施⇒英語コースにおける受入体制整備とプログラム全体の質向上のため、工学科目を担当する理工学部教員1名を英語による学位プログラムに取り組んでいるコーペンハーゲン大学理学部化学科に派遣し、英語による講義の視察および担当教員との情報交換を行った。
- ⑤実地研修型ゼミナールHuman Ecology: Riversにかかる事前調査⇒3月に釧路の実地研修先を訪問。夏期集中ゼミナールのスケジュール調整や、講師手配、シラバス作成等プログラムの構築を行う。
- ⑥派遣前ガイダンス・派遣前面談実施準備⇒ガイダンスや面談実施のための日程調整および資料作成を行う。

〈ボゴール農科大学訪問時の様子〉



### ■ 交流プログラムの内容

#### ASEAN連携6大学

各連携大学のプログラム、履修科目の確認等

- ◆ インドネシア  
ボゴール農科大学(食料科学技術)  
ガジャマダ大学(農業、経済学)
- ◆ タイ  
チュラロンコーン大学(言語・文化、経済学)  
マヒドン大学(国際ビジネス)
- ◆ フィリピン  
アテネオ・デ・マニラ大学(言語・文化、経済学、国際ビジネス、工学)  
デ・ラサール大学(言語・文化、経済学、国際ビジネス、工学)

派遣  
25~40人  
←  
→  
受入  
25人

#### 上智大学 (Sophia AIMS)

学融合プログラム

- ◆ 受入・派遣学生共通必修科目「TDHD入門」
- ◆ 専任教員による新設科目6科目  
Environmental Science, Conservation, Sustainable Development, Urban Ecology, Environmental Change and Human Development  
A Critical Approach to Sustainable City
- ◆ 豊富な選択科目群  
【工学】基礎環境科学、応用環境工学など23科目  
【言語・文化】Culture & Society, Global Affairs, Environmental Studiesなど55科目
- ◆ 実地研修型ゼミナール Human Ecology: Rivers(選択)
- ◆ Summer Session in Asian Studies(選択)

### ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

①日本人学生の派遣

チュラロンコーン大学への学生派遣（2014年度秋学期留学）にかかる募集、選考を経て5名を選出。その他5大学についても随時募集・選考中。

②外国人留学生の受入

マヒドン大学（タイ）から1名、アテネオ・デ・マニラ大学（フィリピン）から2名の留学生の受入準備を開始。他大学からの応募勧奨中。

注)H25は実績、H26以降は申請時の計画

	H25			H26			H27			H28			H29		
	I	T	P	I	T	P	I	T	P	I	T	P	I	T	P
学生の派遣	0	0	0	10	8	7	10	9	11	12	11	12	14	13	13
学生の受入	0			25			25			25			25		

### ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

I:インドネシア T:タイ P:フィリピン

〈釧路湿原: "Rivers" 実習先〉



【受入・派遣共通】

- ・ ASEAN交流オフィスの設置
- ・ 受入学生、派遣学生が共に学べるプログラム構成（TDHD、Human Ecology: "Rivers"）
- ・ 情宣用リーフレット（日英）の作成
- ・ 情報提供のためのSAIMSウェブサイトの構築および開  
URL: <http://dept.sophia.ac.jp/pj/saims/>

【受入学生】

- ・ 英語対応可能な常勤カウンセラーによる相談体制
- ・ 国際学生寮（祖師谷国際交流会館）での日本人学生および地域住民との交流の企画

【派遣学生】

- ・ 学内での定期的なSAIMS留学説明会の実施
- ・ 学内ポスター、学校サイト、掲示板による情宣活動

# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H26取組概要

## 上智大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

### 多様性の調和を目指す学融合型の人間開発教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

国際連携に基づく新たな国際高等教育モデルの構築を目指し、ASEANと日本の学生が共に学び合う協働教育のプラットフォームを提供することで、アジアに立脚し域内外の地球規模の課題に対応できる人材を育成する。

【構想の概要】

ASEANと日本の学生が協働し、既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取り組む学融合型プログラム。「ヒューマン・エコロジー: 社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、学生は約100科目に渡る豊富な科目群から学修計画に基づいて科目を履修すると同時に、受入・派遣学生は共通必修科目「学融合型人間開発入門」のほか、「実地研修型ゼミナール(Human Ecology: Rivers)」、「Summer Session in Asian Studies」を履修できる。

## ■ 交流プログラムの質の保証

1. **第7回/第8回AIMSレビューミーティングへの参加**⇒構想責任者、本プログラム (Sophia AIMS: SAIMS) 教職員が参加し、AIMSに関する情報収集およびSAIMSプログラムの紹介、関係者とのネットワーキングを行った。
2. **実地研修型ゼミナールにかかる事前調査および実施**⇒釧路の実地研修先を訪問し、ゼミのスケジュール調整や、講師手配、シラバス作成等プログラムの構築を行った。初年度は、受入学生2名を含む計12名がゼミに参加した。
3. **FDプログラム**⇒オーストラリアで開催された"2014 International Riversymposium"に実地研修型ゼミナール担当教員が参加し、ゼミの成果を環境教育家に発表し、評価を行った。
4. **プログラム開発協議会の実施**⇒プログラム担当教員および職員が平成27年度新規連携大学を含む全連携大学(4カ国7大学)を訪問し、学修環境を視察するとともに、双方のプログラムの質向上のため協議・情報共有を行った。また、連携大学2校のプログラムコーディネータが、本学を訪問した際には、プログラム詳細について綿密な打合せを行い、本学の学修環境を紹介した。
5. **SAIMS国際シンポジウムの実施**⇒12月に本学において「Higher Education Harmonization and Networking in East and Southeast Asia: How AIMS Program Can Contribute to an Emerging ASEAN Community」と題するシンポジウムを開催し、プログラム成果のアセスメントを行うとともに、ASEANと日本の大学の双方向的な交流を進める上での課題等について議論した。3月にはタイにおいて東南アジア教育大臣機構・高等教育開発センター(SEAMEO-RIHED)と共催で「AIMS Symposium: Quality Assurance in AIMS Program」と題するシンポジウムを開催。連携大学7校の代表者を招聘し、SAIMSプログラムを題材に、どのような分野の科目がモビリティを促進するかなど、国境を越えた学生プログラムの質の保証と今後の課題について議論した。

## ■ 交流プログラムの内容

ASEAN連携大学	上智大学 (Sophia AIMS)
<p>◆ <b>インドネシア</b> ボゴール農科大学: 食料科学技術 ガジャマダ大学: 農業、経済学</p> <p>◆ <b>タイ</b> チュラロンコン大学: 言語・文化、経済学 マヒドン大学: 国際ビジネス</p> <p>◆ <b>フィリピン</b> アテネオ・デ・マニラ大学: 言語・文化、経済学 デ・ラ・サール大学: 国際ビジネス、工学、経済学</p> <p>◆ <b>マレーシア (H27より追加予定)</b> マレーシア国民大学: 国際ビジネス、言語・文化</p>	<p>◆ 受入・派遣学生共通必修科目「学融合型人間開発入門」</p> <p>◆ 専任教員による新設科目6科目 Environmental Science, Conservation, Sustainable Development, Urban Ecology, Environmental Change and Human Development, A Critical Approach to Sustainable City</p> <p>【工学】基礎環境科学、応用環境工学など23科目</p> <p>【言語・文化】Culture &amp; Society, Global Affairs, Environmental Studiesなど86科目</p> <p>◆ 豊富な選択科目群</p> <p>◆ Summer Session in Asian Studies (選択)</p> <p>◆ 実地研修型ゼミナール Human Ecology: Rivers (選択)</p>
<p>【目標】 派遣 25~42人</p> <p>←</p> <p>→</p> <p>受入 27人</p>	<p>学融合型プログラム</p>

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H26までは実績、H27以降は申請時の計画

	H25			H26			H27				H28				H29			
	I	T	P	I	T	P	I	T	P	M	I	T	P	M	I	T	P	M
学生の派遣	0	0	0	2	8	5	10	9	11	2	12	11	12	2	14	13	13	2
学生の受入	0			8			27				27				27			

I: インドネシア T: タイ P: フィリピン M: マレーシア (H27より追加予定)

## ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

【受入・派遣共通】

- ・プログラムコーディネータによる留学生サポート
- ・プログラム専任教員による履修相談体制
- ・受入派遣学生が共に学べる学融合プログラム構成
- ・プログラムオリエンテーション、交流会の実施
- ・フォローアップ研修によるプログラム成果のアセスメント
- ・専用サイト、Facebookによる情報提供・共有およびプロモーション

URL: <http://dept.sophia.ac.jp/pj/saims>

Facebook: <https://www.facebook.com/Sophia.AIMS.SAIMS.Program>

【受入】

- ・英語対応可能な常勤カウンセラーによる相談体制
- ・「上智大学祖師谷文化祭」等を通じた国際学生寮での日本人学生および地域住民との交流

【派遣】

- ・留学フェア、プログラム説明会、の実施
- ・渡航前危機管理ガイダンス、留学ガイダンスの実施
- ・第1期生による留学報告会の実施





# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H27取組概要

## 上智大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

### 多様性の調和を目指す学融合型人間開発教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

国際連携に基づく新たな国際高等教育モデルの構築を目指し、ASEANと日本の学生が共に学び合う協働教育のプラットフォームを提供することで、アジアに立脚し域内外の地球規模の課題に対応できる人材を育成する。

【構想の概要】

ASEANと日本の学生が協働し、既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取組む学融合型プログラム。「ヒューマン・エコロジー: 社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、学生は約100科目に渡る豊富な科目群から学修計画に基づいて科目を履修すると同時に、受入・派遣学生は共通必修科目「学融合型人間開発(TDHD)入門」のほか、「実地研修型ゼミナール(Human Ecology: Rivers)」、「Summer Session in Asian Studies」を履修することができる。

### ■ 交流プログラムの質の保証

1. **SAIMS講演会シリーズの実施(4月~7月)** ⇒ アジア地域で活躍する卒業生を招き、ASEAN地域への留学やアジア諸国でのビジネスを語る講演会を定期的に実施し、学生のASEAN地域への興味、関心の底上げに力を入れた。
2. **実地研修型ゼミにかかる事前調査および実施(8月、2月釧路)** ⇒ 釧路の実地研修先を視察し、ゼミのスケジュール調整や、講師手配、シラバス作成等プログラムの構築を行った。受入学生7名を含む計15名がゼミに参加し、TDHDでの学びをフィールドワークで深めた。
3. **ASEAN留学促進ウィークの実施(7月上智)** ⇒ ASEAN各国の在日大使館や受入留学生の協力の下、文化紹介や留学情報などの提供を行い、本プログラムへの応募に繋がるよう関心の底上げを行った。
4. **第9回レビューミーティングへの参加(10月つくば)** ⇒ 構想責任者、本プログラム(Sophia AIMS: SAIMS)担当教職員が参加し、AIMSに関する情報収集およびSAIMSプログラムの紹介、関係者とのネットワーキングを行った。上智大学は主催大学(筑波大学)以外では唯一「グッドプラクティス」として取り組み状況をプレゼンテーションする機会を与えられた。
5. **プログラム開発協議会の実施(10月~12月)** ⇒ プログラム担当教員および職員が全連携大学(4カ国7大学)を訪問し、学修環境を視察するとともに、双方のプログラムの質向上のため協議・情報共有を行った。
6. **スタディーツアーの実施(11月タイ)** ⇒ タイの派遣学生を対象にスタディーツアーを実施。SEAMEO-RIHEDをはじめ、ILO、国連、病院、企業訪問などを通して、机上の勉強だけでは学べない、現地での労働環境について学ぶとともに、東南アジアで働くことの意義について学生自身が考え、視野を広げる機会を設けた。
7. **SEAMEO-RIHED主催ワークショップ参加(2月タイ)** ⇒ 3日間のワークショップを通じた大学の国際化及び学術交流に対する理解の深化、学生・教職員の国際交流を切り口としたASEAN地域の大学との連携強化となった。また、参加大学とのネットワーキング、情報交換、実務上の協議を行った。
8. **派遣生、受入生フォローアップ研修、エバリュエーションの実施** ⇒ 留学生生活を総括するフォローアップ研修を行い、留学生生活で得たものを発表させ、成果の定着化を図るとともに、プログラムの改善点などを議論した。

### ■ 交流プログラムの内容

ASEAN連携大学	上智大学 (Sophia AIMS)
<p>◆ <b>インドネシア</b> ボゴール農科大学: 食料科学技術 ガジャマダ大学: 農業、経済学</p> <p>◆ <b>タイ</b> チュラロンコーン大学: 言語・文化、経済学 マヒドン大学: 国際ビジネス</p> <p>◆ <b>フィリピン</b> アテネオ・デ・マニラ大学: 言語・文化、経済学 デ・ラ・サール大学: 国際ビジネス、工学、経済学</p> <p>◆ <b>マレーシア(H27より追加)</b> マレーシア国民大学: 国際ビジネス、言語・文化</p>	<p>◆ <b>受入・派遣学生共通必修科目「学融合型人間開発(TDHD)入門」</b></p> <p>◆ <b>専任教員によるSAIMS科目6科目</b> Environmental Science, Conservation, Sustainable Development, Urban Ecology, Environmental Change and Human Development, A Critical Approach to Sustainable City</p> <p>【工学】基礎環境科学、応用環境工学など23科目 【言語・文化】Culture &amp; Society, Global Affairs, Environmental Studiesなど67科目</p> <p>◆ <b>豊富な選択科目群</b></p> <p>◆ <b>Summer Session in Asian Studies(選択)</b></p> <p>◆ <b>実地研修型ゼミナール Human Ecology: Rivers(選択)</b></p>
<p>【目標】 派遣 25~42人</p> <p>←</p> <p>→</p> <p>受入 27人</p>	<p>学融合プログラム</p>

### ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

(注) H27までは実績、H28以降は申請時の計画

	H25			H26			H27				H28				H29			
	I	T	P	I	T	P	I	T	P	M	I	T	P	M	I	T	P	M
学生の派遣	0	0	0	2	8	5	5	8	3	1	12	13	12	2	14	13	13	2
学生の受入	0	0	0	3	1	4	4	11	10	1	27				27			

I: インドネシア T: タイ P: フィリピン M: マレーシア(H27より追加)

### ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

#### 【受入・派遣共通】

- ・プログラムコーディネータによる留学生サポート
- ・プログラム専任教員による履修相談体制
- ・受入派遣学生が共に学べる学融合プログラム構成
- ・プログラムオリエンテーション、交流会の実施
- ・フォローアップ研修によるプログラム成果のアセスメント
- ・専用サイト、Facebookによる情報提供・共有およびプロモーション

URL: <http://dept.sophia.ac.jp/pj/saims>

Facebook: <https://www.facebook.com/Sophia.AIMS.SAIMS.Program>

#### 【受入学生支援】

- ・英語対応可能な常勤カウンセラーによる相談体制
- ・「上智大学祖師谷文化祭」等を通じた国際学生寮での日本人学生および多国籍学生との交流

#### 【派遣学生支援】

- ・留学フェア、プログラム説明会、の実施
- ・渡航前危機管理ガイダンス、留学ガイダンスの実施
- ・プログラム参加者による留学報告会の実施



# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H28取組概要

## 上智大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

### 多様性の調和を目指す学融合型人間開発教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

国際連携に基づく新たな国際高等教育モデルの構築を目指し、ASEANと日本の学生が共に学び合う協働教育のプラットフォームを提供することで、アジアに立脚し域内外の地球規模の課題に対応できる人材を育成する。

【構想の概要】

ASEANと日本の学生が協働し、既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取り組む学融合型プログラム。「ヒューマン・エコロジー:社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、学生は約150科目に渡る豊富な科目群から学修計画に基づいて科目を履修すると同時に、受入・派遣学生は共通必修科目「学融合型人間開発入門」のほか、「実地研修型ゼミナール(Human Ecology: Rivers)」、「Summer Session in Asian Studies」を履修できる。

### 交流プログラムの質の保証

1. **実地研修型ゼミにかかる事前調査および実施(7月・2月釧路)** ⇒釧路の実地研修先を訪問し、ゼミのスケジュール調整や、講師手配、シラバス作成等プログラムの構築を行った。受入学生6名を含む計13名がゼミに参加し、TDHDの学びをフィールドワークで深めた。
2. **ASEAN留学促進ウィークの実施(10月上智)** ⇒本プログラム(SAIMS =Sophia AIMS)の募集説明会、個別相談をはじめ、特別イベントとして学生食堂においてASEAN諸国特別メニューの提供やバンコクに留学中の学生とテレビ会議システムで中継してトークライブを実施し、学内全体のASEANへの関心を底上げした。
3. **SAIMS講演会シリーズの実施(10月上智)** ⇒ASEAN留学促進ウィーク期間中に、アジアで活躍する卒業生を招き、ASEAN地域への留学やアジア諸国での職業経験についての講演会を実施した。卒業後のキャリアにフォーカスした講演は、多くの学生にアジアとの関わり的重要性を認識させることとなった。
4. **第10回レビューミーティングへの参加(11月マレーシア)** ⇒本プログラムに関わる教職員が参加し、連携大学と学生交流に関する進捗報告や課題、今後の協力体制について協議した。本学におけるムスリム学生対応事例がグッドプラクティスとして紹介された。
5. **受入生を対象とした地域交流イベントの開催(11月祖師谷)** ⇒受入生の宿舎となる祖師谷国際交流会館において、同会館が位置する世田谷区住民と協力し、「上智大学祖師谷文化祭」を実施した。プログラム受入生も企画などに参加し、地元の小・中学生をはじめとする地域住民と密度の濃い交流を行った。
6. **連携大学合同協議会の開催(1月タイ)** ⇒連携7大学との合同協議会を連携大学であるチュラロンコン大学で開催し、本プログラムの4年間の成果や課題について共有するとともに、今後の学生交流継続及び促進に向けた協議を行った。
7. **東南アジア教育大臣機構高等教育開発センター主催のフォーラムへの参加(2月タイ)** ⇒本フォーラムへの参加により、課題として捉えられている学生交流の効果測定やプログラム評価について理解を深めるとともに、参加大学とのネットワーキング、情報交換、実務上の協議を行い、関係を深化させた。
8. **国際協働教育評価協力者会議の実施(3月名古屋)** ⇒高等教育の質保証の専門家、国際協力機関や民間企業で海外展開に関わる専門家と共に、プログラム成果の振り返りと継続的発展について議論することで、プログラムを客観的に評価し、事業の改善につなげることができた。
9. **派遣生、受入生フォローアップ研修、エバリュエーションの実施** ⇒留学生生活を総括するフォローアップ研修を行い、留学生生活で得たものを共有しあうことで、成果を定着化・深化させるとともに、今後のSAIMSプログラムの改善点などを議論した。

### 交流プログラムの内容

#### ASEAN連携大学

- ◆ **インドネシア**  
ボゴール農科大学:食料科学技術  
ガジャマダ大学:農業、経済学
- ◆ **タイ**  
チュラロンコン大学:言語・文化、経済学  
マヒドン大学:国際ビジネス
- ◆ **フィリピン**  
アテネオ・ド・マニラ大学:言語・文化、経済学  
デ・ラ・サール大学:工学、経済学
- ◆ **マレーシア(H27より追加)**  
マレーシア国民大学:国際ビジネス

【目標】  
派遣  
25~42人  
←  
→  
受入  
27人

#### 上智大学 (Sophia AIMS)

学融合プログラム

- ◆ 受入・派遣学生共通必修科目「学融合型人間開発入門」
- ◆ 専任教員による新設科目13科目  
Environmental Science, Conservation, Sustainable Development, Urban Ecology, Environmental Change and Human Development, A Critical Approach to Sustainable City
- 【工学】基礎環境科学、応用環境工学など59科目
- 【言語・文化】Culture & Society, Global Affairs, Environmental Studiesなど91科目
- ◆ 豊富な選択科目群
- ◆ Summer Session in Asian Studies (選択)
- ◆ 実地研修型ゼミナール Human Ecology: Rivers (選択)

### 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注)H28までは実績、H29以降は申請時の計画

	H25			H26			H27				H28				H29			
	I	T	P	I	T	P	I	T	P	M	I	T	P	M	I	T	P	M
学生の派遣	0	0	0	2	8	5	5	8	3	1	9	13	13	2	14	13	13	2
学生の受入	0	0	0	3	1	4	4	11	10	1	1	8	10	2	27			

I:インドネシア T:タイ P:フィリピン M:マレーシア(H27より追加)

### 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

【受入・派遣共通】

- ・プログラムコーディネータによる留学生サポート
- ・プログラム専任教員による履修相談体制
- ・受入派遣学生が共に学べる学融合プログラム構成
- ・プログラムオリエンテーション、交流会の実施
- ・フォローアップ研修によるプログラム成果のアセスメント
- ・専用サイト、Facebookによる情報提供・共有およびプロモーション  
URL: <http://dept.sophia.ac.jp/pj/saims>  
Facebook: <https://www.facebook.com/Sophia.AIMS.SAIMS.Program>

【受入】

- ・英語対応可能な常勤カウンセラーによる相談体制
- ・「上智大学祖師谷文化祭」等を通じた国際学生寮での日本人学生および地域住民との交流

【派遣】

- ・留学フェア、プログラム説明会、の実施
- ・渡航前危機管理ガイダンス、留学ガイダンスの実施
- ・プログラム参加者による留学報告会の実施



実地研修型ゼミナールの実習地釧路にて

必修科目TDHDの授業の様子

派遣学生・受入学生合同留学報告会

ASEAN留学促進ウィークのトークライブ



# 大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H29取組概要

## 上智大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

### 多様性の調和を目指す学融合型人間開発教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

国際連携に基づく新たな国際高等教育モデルの構築を目指し、ASEANと日本の学生が共に学び合う協働教育のプラットフォームを提供することで、アジアに立脚し域内外の地球規模の課題に対応できる人材を育成する。

【構想の概要】

ASEANと日本の学生が協働し、既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取り組む学融合型プログラム。「ヒューマン・エコロジー:社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、学生は約150科目に渡る豊富な科目群から学修計画に基づいて科目を履修すると同時に、受入・派遣学生は共通必修科目「学融合型人間開発入門」のほか、「実地研修型ゼミナール(Human Ecology: Rivers)」、「Summer Session in Asian Studies」を履修できる。

## ■ 交流プログラムの質の保証

1. **実践型環境ゼミナールにかかる事前調査および実施(6月~8月釧路)** ⇒ 釧路の実地研修先を訪問し、ゼミのスケジュール調整や、講師手配、シラバス作成等プログラムの構築を行った。受入学生2名、派遣学生1名を含む計12名がゼミに参加し、学融合型プログラムの学びをフィールドワークを通して深めた。
2. **RIVERSシンポジウム開催(8月釧路)** ⇒ 実践型環境ゼミナール期間中、ノルウェーで鮭の保護活動に長年取り組んでいる専門家を釧路に招き、「Restoring Wetlands, Reviving Salmon」と題したシンポジウムを開催し、日本とノルウェーでのサケの保護を通じた自然再生の現状と課題を報告した。
3. **ASEAN留学促進ウィークの実施(7月上智)** ⇒ 本プログラムの募集説明会、個別相談をはじめ、特別イベントとして学生食堂においてASEAN諸国特別メニューの提供やトークライブを実施し、学内全体のASEANへの関心を底上げした。
4. **SAIMS講演会シリーズの実施(7月上智)** ⇒ ASEAN留学促進ウィーク期間中に、アジアで活躍する卒業生を招き、ASEAN地域への留学やアジア諸国での職業経験についての講演会を実施した。卒業後のキャリアにフォーカスした講演は、多くの学生にアジアとの関わり的重要性を認識させることとなった。
5. **第1回チュラロンコン大学Study Abroad Fairへの参加(8月タイ)** ⇒ SAIMSプログラムの連携大学で、本学ASEANハブセンターの所在地でもある同大学の留学フェアに参加、ブースでの案内及び15分間の大学紹介プレゼンで情宣。積極的に本学のプログラム内容やキャンパスの雰囲気につき説明を行った。
6. **SAIMS新設科目の開講(秋学期)** ⇒ SAIMS参加学生の関心が高い分野の科目を充実すべく、「SPATIAL PLANNING AND SUSTAINABLE DEVELOPMENT」、「環境と開発入門」を新たに開講した。
7. **第11回レビューミーティングへの参加(11月インドネシア)** ⇒ 本プログラムに関わる教職員が参加し、連携大学と学生交流に関する進捗報告や課題、今後の協力体制について協議した。日本からの報告では、本学の「Human Ecology: Rivers」が日本とASEANの学生交流の事例として紹介された。
8. **統括シンポジウム「SAIMS国際シンポジウム」の実施(11月上智)** ⇒ SEAMEO RIHEDセンター長及び連携大学の代表者を招聘し、プログラム成果の振り返りと継続的発展について議論することで、プログラムを客観的に評価し、事業の改善につなげることができた。
9. **受入生フォローアップ調査の実施(1-2月タイ・フィリピン)** ⇒ これまでの受入生を対象とした調査を現地で行い、プログラム参加経験がその後の学修やキャリアにどう繋がっているかヒアリングを行なった。また、現地OB・OG組織と引き合わせ、各国での継続的なフォローアップ体制の構築を検討した。
10. **国際協働教育評価協力者会議の実施(2月上智)** ⇒ 国際協働教育評価協力者からの評価、提案等により、本学における取り組みの進捗や状況を客観的に把握できた。特に補助期間終了後の継続に向けてのフィードバックを踏まえ、持続可能な運営体制の構築への示唆を得た。

## ■ 交流プログラムの内容

ASEAN連携大学	上智大学 (Sophia AIMS)
<p><b>◆ インドネシア</b> ボゴール農科大学: 食料科学技術 ガジャマダ大学: 農業、経済学</p> <p><b>◆ タイ</b> チュラロンコン大学: 言語・文化、経済学 マヒドン大学: 国際ビジネス</p> <p><b>◆ フィリピン</b> アテネオ・デ・マニラ大学: 言語・文化、経済学 デラ・サール大学: 工学、経済学</p> <p><b>◆ マレーシア (H27より追加)</b> マレーシア国民大学: 国際ビジネス</p>	<p><b>◆ 受入・派遣学生共通必修科目「学融合型人間開発入門」</b></p> <p><b>◆ 専任教員による科目12科目</b> Environmental Science, Conservation, Sustainable Development, Urban Ecology, Environmental Change and Human Development, A Critical Approach to Sustainable City, 等</p> <p><b>【工学】基礎環境科学、応用環境工学など59科目</b></p> <p><b>【言語・文化】Culture &amp; Society, Global Affairs, Environmental Studiesなど91科目</b></p> <p><b>◆ 豊富な選択科目群</b></p> <p><b>◆ Summer Session in Asian Studies (選択)</b></p> <p><b>◆ 実地研修型ゼミナール Human Ecology: Rivers (選択)</b></p>

【目標】  
派遣 25~42人  
受入 27人

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

	H25			H26			H27				H28				H29			
	I	T	P	I	T	P	I	T	P	M	I	T	P	M	I	T	P	M
学生の派遣	0	0	0	2	8	5	5	8	3	1	9	13	13	2	9	10	16	2
学生の受入	0	0	0	3	1	4	4	11	10	1	1	8	10	2	0	7	4	8

I:インドネシア T:タイ P:フィリピン M:マレーシア(H27より追加)

## ■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

### 【受入・派遣共通】

- ・プログラムコーディネータによる留学生サポート
- ・プログラム専任教員による履修相談体制
- ・受入派遣学生が共に学べる学融合プログラム構成
- ・プログラムオリエンテーション、交流会の実施
- ・フォローアップ研修によるプログラム成果のアセスメント
- ・専用サイト、Facebookによる情報提供・共有およびプロモーション  
URL: <http://dept.sophia.ac.jp/pj/saims>  
Facebook: <https://www.facebook.com/Sophia.AIMS.SAIMS.Program>

### 【受入】

- ・英語対応可能な常勤カウンセラーによる相談体制
- ・「上智大学祖師谷文化祭」等を通じた国際学生寮での日本人学生および地域住民との交流

### 【派遣】

- ・留学フェア、プログラム説明会、の実施
- ・渡航前危機管理ガイダンス、留学ガイダンスの実施
- ・プログラム参加者による留学報告会の実施



実地研修型ゼミナールの実習地釧路にて

必修科目TDHDの授業の様子

派遣学生・受入学生合同留学報告会

シンポジウムにて派遣学生の発表